

1. 科目名 (単位数)	文章表現 (2単位)	3. 科目番号	GELA1107
2. 授業担当教員	八重樫 幸雄		
4. 授業形態	講義、グループワーク、演習 (論作文)、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特にありません。		
7. 講義概要	<p>大学での講義及び演習 (ゼミ) では、レポートを書いたり発表したりという表現力が要求される。この授業では、大学での学習や研究に必要な「書く」技術の基礎訓練を行うことをねらいとしている。</p> <p>したがって、目標とされるのは、文学的表現や美文調の修辞等ではなく、むしろ簡潔で明快な文章の表現法である。文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ、表現的的確さ、わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学習する。</p> <p>本科目の授業を通じて表現力やコミュニケーション能力を養うことは、大学段階にとどまらず、今後の社会でますます重要となってくるものであることを認識する必要がある。</p>		
8. 学習目標	<p>以下について学習・理解し、レポート・論文が書けるようになることを学習目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的・基本的事項を理解し説明できるようになる。 2 わかりやすい言葉 (表現方法) で、明瞭で論理的な文章を書く技術を習得する。 3 実践的な訓練を通して、自分の考えや意見を論理的に述べる文章表現力を身に付ける。 4 定評のあるオピニオン誌の論文や新聞の社説などに触れ、現実の捉え方やものの見方を学ぶ。 5 文章の読解力と文章の構成力を養い、文章表現に対する苦手意識を払拭する。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アサイメント 事前学習、事後学習で取り組んだ内容を毎回のアサイメントシートに記述する。 ・レポート課題 (小論文) 身の回りで起きている問題や関心のある社会問題を参考にして自らの課題 (テーマ) を設定し、論文形式を踏まえて小論文を作成する。2400字程度 それ以上も可 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 河野哲也著『レポート・論文の書き方入門 (第4版)』慶応義塾大学出版会、2018年。</p> <p>【参考書】 友松悦子著『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク、2008年。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説 (第5版)』中央法規、2017年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的・基本的事項を理解しているか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 積極的参加度 (発言、討議、発表、取り組み等) 総合点の40% 2 レポート (小課題・コメントペーパー等を含む) 総合点の60% <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>受講生に期待すること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書は必ず準備し、授業中は真剣に取り組む、分からないところは質問すること。 2. 授業中は他人に迷惑をかけないよう、私語・携帯電話・居眠り・飲食を禁止する。 3. 予習・復習をしっかりと行い、学習内容を確実に習得し文章を書くことになれること。 4. レポートや副教材のプリント等は各自整理整頓に努め、学習内容の大切な資料として活用すること。 5. 欠席・遅刻・早退をしないこと。欠席・遅刻・早退をするときは、理由を書面にて提出すること。 		
13. オフィスアワー	第1回の時に知らせる。 連絡先 yuyaegas@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明、授業の受け方の説明。 自己紹介文の作成と提出。	事前学習	自分なりに自己紹介文を書ける準備をしておく。
		事後学習	授業の受け方の大事なことや自己紹介文の書き方について説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第2回	『レポート・論文の書き方』の第1章をもとに、レポート・論文の必要性とその書き方の基礎事項を学ぶ。また、原稿用紙の使い方を理解する。	事前学習	教科書の第1章 pp.2~11 を読んで、作文・レポート・論文の基礎事項や原稿用紙の使い方を調べ、説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。
		事後学習	レポートや論文の基礎事項について説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第3回	教科書『レポート・論文の書き方』の第1章をもとに、感想文やエッセイとレポート・論文の違いを理解する。	事前学習	教科書の第1章 pp.2~11 を読んで、感想文・エッセイ・レポート・論文の違いを調べ、説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。
		事後学習	感想文・エッセイ・レポート・論文の違いについて説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。

第4回	教科書『レポート・論文の書き方』の第2章をもとに、テキスト批評による論文の読み方・書き方の方法を理解する。ここでは、特に問題意識やテーマの設定の方法を理解する。	事前学習	教科書の第2章 pp. 14～30 を読んでテキスト批評の仕方を調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	テキスト批評の仕方について説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第5回	教科書『レポート・論文の書き方』の第3章をもとに、論文・レポートの必要要件と構成について理解する。	事前学習	教科書の第3章 pp. 32～56 を読んで論文やレポートの必要要件を調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	論文・レポートの必要要件と構成について説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第6回	教科書『レポート・論文の書き方』の第4章をもとに、論文・レポートのテーマや課題の設定、本文の組み立て方を理解する。	事前学習	教科書の第4章 pp. 58～70 を読んで論文やレポートの本文の組み立て方を調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	レポートや論文の組み立て方について説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第7回	教科書『レポート・論文の書き方』の第5章をもとに、資料の探し方、注や引用・文献の付け方を理解する。	事前学習	教科書の第5章 pp. 72～96 を読んで資料の探し方を調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	注・引用・文献のつけ方について説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第8回	レポートの構成やまとめ方について、分かりやすい表現・正しい表現・適切な語彙・文法表現等を理解する。	事前学習	正しい表現・適切な語彙・文法表現等を調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	正しい表現・適切な語彙・文法表現等について説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第9回	文章を読む・書く①（用語の選択、主語・述語の呼応、書き出しと文末の呼応）	事前学習	テキスト pp. 105～106 を読んで、書き出しと文末の呼応などを調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	表現の簡潔さや文末表現の工夫について説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第10回	文章を読む・書く②（段落）	事前学習	段落の工夫に気を付けて読んで要点をまとめアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	小論文の段落、構成の工夫について説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第11回	文章全体をつかむ①（マッピングによる情報整理） 小論文を書こう1	事前学習	テキスト pp. 98～104 の「見本レポート」を読んで、必要要件と構成についてアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	「見本レポート」に関してマッピングによる情報整理を行い、アサシメントシートにまとめる。確認テストの準備をする。
第12回	文章全体をつかむ②（要約文） 小論文を書こう2	事前学習	テキスト pp. 98～104 の「見本レポート」を読んで、要点を3つ以上箇条書きにして、アサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	要約文の工夫について説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第13回	人の小論文への考えや感想を書く（意見文・感想文） 小論文を書こう3	事前学習	班の人の小論文を読んで、批評できるように、アサシメントシートに意見文・感想文を書いておく。
		事後学習	人の小論文を批評して、ポイントを押さえてアサシメントシートにまとめ自分の小論文を仕上げる。
第14回	文章表現の成果発表①～小論文を紹介しよう～前半	事前学習	成果発表の評価ができるように、発表となる小論文に目を通して修正点を見つけておく。
		事後学習	人の発表を参考にして、自分の小論文を見直す。
第15回	文章表現の成果発表②～小論文を紹介しよう～後半	事前学習	成果発表の評価ができるように、発表となる小論文に目を通して修正点を見つけておく。
		事後学習	課題レポート（小論文）を指定された日までに文書で提出できるようにする。